

(株)とよとみ

代表取締役

足立久二男さん

明日へ向かって駆ける

農業法人の経営者は語る

「前身の営農組合から引き継いだ水稲の受託作業・ライスセンターの運営に淡々と取り組み、地域の農業を次代に繋いでいくのが僕の使命」と話すのは、福知山市上豊富地区の(株)とよとみ代表取締役の足立久二男さん(63)。

同地区は、同市西部の中山間地に水田が広がる。同地区内には3年前まで12農区で上豊富営農組合が組織され、農作業受託や機械の共同利用を行っていた。しかし、高齢化で作業できるオペレーターが減って解散の話が持ち上がり、地域全体で話し合ったもののオペレーターが確保できず、2015年秋に解散することになった。どのような形であれ、地域の農業を支える組織が無ければ衰退してし

まう。何とか存続せんとあかん」との思いから、市や農業会議からの指導を受け16年3月に地区の有志7人で同社を立ち上げた。

代表取締役となった足立さんは以前会社に勤めていたが、15年に定年退職し、前身の営農組合でオペレーターや苗運びなどをしていた。当時の営農組合長に勧められて代表になったという足立さんは



▶地域の農業の中核となって取り組む足立さん

「農地はほぼ持たず水稲の作業受託とライスセンターの乾燥調整作業が中心の法人。地区内には、幸い農業機械を一式揃えた農家がまだあるため、そういった農家と協力して地域の農業を守っていきたい」と話す。また、地区内に畜産農家があるため、法人化とともに発酵粗飼料(ホイールクロップサイレージWCS)稲の栽培に取

り組み、経営の一部に取り入れている。

しかし、「地域内では地主が地元で居らず管理できない耕作放棄地が増えており、全ての農地を維持管理していくのは限界にきている。今後は、12農区で守る農地、残していくべき農地を選択してもらうことが必要となっている」と足立さんは地域の課題を話す。

「将来的には、1年通じて働ける作物に取り組みたいこの思いは持っているが、まずは地域の農業を10年守ること。会社本体の経営はそれから。有志で立ち上げた会社だが、地区の一員として地域の農業の今後のあり方を一緒に考えて取り組んでいきたい」と足立さんは将来について語った。

■法人所在地 福知山市字畑中1701番地1。(電)0773(34)0304。

■法人概要 2016年3月1日設立。株主7人、パートタイマー6人。経営面積 WCS 稲1・6畝、水稲育苗ハウス4棟6400枚、農作業受託。農業機械 トラクター1台、田植え機3台、コンバイン2台、小型トラクター1台、乾燥機5台、もみすり機1台。

次代つなぐ懸け橋に